

一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

2023年5月31日
東村山市議会議長 あて

議席番号12番
質問者 浅見みどり

I 農地の保護と食料自給率について

- 1 国・都・東村山市それぞれの食料自給率をうかがう。
- 2 地産地消を進めることは、自治体における食料自給率向上につながると考える。当市における地産地消の取組と食料自給率向上のための取組をうかがう。
- 3 当市では、農業振興策として、市民農園（市・農業者）、農業体験農園、援農ボランティア、収穫体験のできる農園等、様々な取り組みを行っているが、こうした取り組みをさらに拡大するための課題をうかがう。

II 緑地・農地の買取と管理への支援でみどりの保全を

- 1 3月定例会で、市長は緑地の買取について、予算全体の中でも「きわめて優先順位が高い」と答弁している。緑地の買取を進めるにあたっての考え方は、みどりの管理計画に示されているが、この認識であるか、確認のためうかがう。
- 2 みどりの基本計画についてうかがう。
 - ① 「みどりの基本計画」の重点施策に関する目標値と進捗状況、R5年度の予算額と来年度以降の見通し、経年の状況について、以下それぞれ（一問一答）でうかがう。
 - A 緑地保護区域の面積
 - B 農地面積
 - C 公園・緑地面積
 - D 新たに保全した公園・緑地などの面積
 - E 緑被率
 - ② 生産緑地保全に関する考え方と目標値はどのように設定されているか。
 - ③ まちの緑化の推進の②「計画的なみどりのまちづくりの施策には連続立体交差事業と合わせた東村山駅周辺の基盤整備の際、未利用地等が生じた場合はみどりの空間としての活用を検討する」とある。未利用地についてどのような活用を検討されているか。

- ④ 市内の道路には傾斜地である等、通行できない道路があり、防草シートを敷かれている箇所がある。こうした場所を緑地とみなして管理できれば緑被率の向上につながるものとするか。課題があればどうか。

3 緑地・農地の保全についてうかがう。

- ① 市が実施している緑地・農地の管理に関する支援策を具体的にうかがう。
- ② 緑地の維持には金銭的な負担、高齢化に伴う作業の負担が課題となっていることは市も認識されている通りである。対応策として、さらなる支援が必要であるとするか。

4 緑地の公有地化についてうかがう。

- ① 緑地の公有地化に関する方針はどのように定められているか。みどりの基本計画に位置付けられている「保全配慮地区内に位置する緑地保護区域」について、買取を判断する基準をうかがう。
- ② これまで市が公有地化した7か所の緑地について、取得した年をうかがう。
- ③ 今後、取得を予定している案件について取得費用と面積、財源をうかがう。
- ④ 市が公有地化した緑地保護区域7件と新たに取得を予定している緑地を合わせた用地取得費と一般財源の総額をうかがう。
- ⑤ 緑の保護と育成に関する条例17条に示される「予算の範囲内」の具体的な金額と基準、根拠をうかがう。
- ⑥ 緑地保全基金の残高、今後の積立額、取り崩し額の見込みをうかがう。
- ⑦ 緑地の公有地化について明確な基準を設け、積極的に買取を進めるべきと考える。市長の考えをうかがう。

5 生産緑地についてうかがう。

- ① 生産緑地の買取状況と用途ごと（農地・道路予定地・宅地予定地等）の買取面積をうかがう。
- ② 市内の宅地開発が生産緑地地区の解除に起因しているケースがある。宅地開発面積と、開発に伴い確保した緑の面積を経年でうかがう。
- ③ 宅地開発が進むと同時に緑地が減少していく実態について、市長の認識をうかがう。